

# 福岡県労連

## KEN ROREN

ZENROREN

2019  
5月号  
No.150

発行所 福岡県労働組合総連合  
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南  
1-9-8 ケイ・アイビル 2F  
☎092-433-1833 FAX092-433-1822  
編集発行  
福岡県労働組合総連合  
福岡県労連 検索



〔定価〕  
1部10円

ホームページ 単産・単組の専用ページパスワード: hotaru (6/1 ~ 6/30)



大牟田地区 (大牟田市・築町公園)



田川地区 (田川市・田川市青少年センター)



京築地区 (行橋市・大橋公園)



筑後地区 (久留米市・久留米シティプラザ)

### 働くものの団結で生活と権利 平和と民主主義を守ろう!

## 第90回

# メーデー

2019.5.1

今回の第90回メーデーは、福岡県内で、10連休、天皇即位と重なる中でのメーデーとなり、各地実行委員会では開催成功にむけて創意工夫を重ねて実施しました。参加数について危惧する声も上がる中でしたが、8会場・2810名の参加で成功を取ることができました。



福岡県中央統一メーデー  
福岡地区労働組合総連合  
福岡県・地区 (福岡市・冷泉公園)



北九州地区 (北九州市・勝山公園図書館横広場)

### 市民講座

## 「ブラック企業の見分け方」



県労連ではこの間、若年未組織労働者の組織化にむけ、20歳から35歳の居住者が40%近くを占める地域に向けて、「働き方アンケート」を配布し40人からハガキが戻ってきました。この中では、労働基準法に守られず、サービス残業は当たり前、有給休暇もとれず、「助けて下さい!」と書かれたものもありました。

働き方改革が叫ばれながらも、上記のように現在の労働基準法すら守られていない職場で働く多くの労働者とどうつながるかが大きな課題となっています。

県労連では、「働き方アンケート」を配布した地域の中で継続してチラシ配布、セミナーなどを行ってきましたが、今回も下記の通り開催します。また、今回の「市民講座」は、新加入組合員学習会としても位置づけ開催します。多くの皆さんの参加を呼び掛けます。

- ★日時/6月23日(日) 14時~15時30分
- ★会場/アミカス研修室 AB (西鉄高宮駅東口)
- ★講師/セミナー①「ブラック企業の見分け方」  
下関市立大学関野教授
- セミナー②「申請手続きどうするの?」  
労働組合スタッフ
- ★定員/組合員20人・未加入20人です。
- ★締切/6月14日 県労連事務局まで



核兵器廃絶国際署名推進福岡県連絡会は5月14日、ヒバクシャ署名と宣伝行動をJR博多駅前で行った。8団体17人が参加しました。



当日は28筆の署名が寄せられました。唯一の被爆国である日本は、核兵器廃絶国際署名を推進する責任があります。



本はまだまだに署名を求めています。安倍首相に「核兵器禁止条約」の署名を迫るためにも、引き続き運動を継続強化していくことが求められています。

## 唯一の被爆国としての責務

5・14ヒバクシャ署名行動

全労連 黒澤氏  
静岡県立大 中澤氏

全国一律最賃で、賃金底上げし、地域を元気に

# 自民議連で 最低賃金の在り方を発言

全国一律最賃制の実現を目指す自民党議員連盟の会合が4月11日あり、最賃の改定審議の際に検討される国の標準生計費について、算出根拠を示すよう議員が踏み込む場面があった。最賃引き上げの重しとなっている標準生計費の算出方法について、秘密のベールが剥がされるのではないかと関係者は期待する。

全国一律の公定価格である医療・福祉職の賃金水準が、最賃額と強い相関があることにも関心が寄せられた。

自民議員も厚労省へ生計費データ開示迫る

何とか生命を維持できる水準ではなく、「健康で文化的な生活」を送れる最低限の生計費を算出する試みだ。都市、地方にかかわらず、法定労働時間の勤務でおおむね時給1300円程度が必要との結果が出ている。

議員らが強い関心を示す中、厚生労働省担当者は国の標準生計費を最賃の改定審議に提出していると説明した。標準生計費は、人

事院が毎年、総務省の家計調査を基に算出。昨年は単身世帯が11万6930円、4人世帯で22万2350円と低い水準となっている。

中澤准教授は、標準生計費の算出に関するデータが非公表とされ、家計調査からも再現できない検証不可能な代物であると指摘。山本幸三議連幹事長が「国会議員に秘密にする理由などあるか」と一喝し、根拠となるデータを示すよう迫った。厚労省側の対応が注目される。

併せて議員らが強い関心を示したのが、都道府県ごとの最賃額と所定内賃金の相関だ。最賃が高い地方ほど賃金は高く、低い地方は賃金が低い。特に、診療報酬や介護報酬など国の公定価格で労務費単価が決められている医療・福祉職場で、同じ相関が見られることについて、務台俊介議連事務局長が「非常に問題だ」と発言、同省に要因分析を求めた。

全労連の担当者が典型的な低賃金職場として①コンビニ②福祉③自治体非正規——を挙げると、町長経験者である衛藤征士郎議連会長は「給与を上げようとしてもラスパイレース指数で国は抑えてくる。そうすると町の企業（の賃金）も下がる。逆に地方の公務員が引っぱり、賃金を上げないと国際競争に勝てない」と述べ、最賃引き上げの意義を強調した。



自民議連で説明する全労連黒澤事務局次長



生計費調査を説明する静岡県立大中澤准教授

【連合通信 隔日版 No.9419より】

## 全労連九州ブロック 女性部交流集会

第1回

inふくおか



九州ブロック女性部は第1回交流集会を5月18、19日福岡で開催し28人が参加しました。

1日目は、晩年平和運動に取り組んだ「歌人・白蓮」ゆかりの伊藤伝右衛門邸と彦山二又トンネル爆発事故現場を見学して夕食交流会。2日目は県労連山下議長と今回の統一選挙で当選した立川由美福岡県議会議員から挨拶と寺園全労連女性部副部長から行動提起がありました。「自分」を表現するために名字ではなく名前で自己紹介。今後、各県に持ち帰り活動を広げること繋がる、終始笑いにあふれた元氣な交流会でした。博多口で、3000万署名も取り組みました。

この本おすすめ  
著者/奈良裕己  
いとしの印刷ボーイズ  
業界あるある「トラブル祭り」



出版社/Gakken  
価格/1,206円(税込)

著者は印刷会社に10年務めた経験のあるイラストレーター。自身の経験での印刷業界トランプルあるあるをコミカルに描いた短編マンガ集です。「水着につんつん大会」や「伝説の誤植」

など、我が身で考える身の毛もよだつトラブルもどこか笑えて読めてしまつ。マンガの脇に印刷用語解説も入っていて、改めて勉強にもなるし、印刷業界以外の方が読んでもしゅうぶん面白い、おすすめの本です。(はやしだいこいち)

### 編集 後記

◆昨年4月から労働審判員として活動を始めました。私が担当した労働審判は2件とも解雇事件でした。1件目は運輸労働者、2件目はタクシードライバーでした。「不当解雇」と言いきれぬ案件ではなく労働者側にも非がある内容でした。合わせて双方ともに個人的な感情のぶつかり合いがあり難しい内容でしたが、落とし所を探り解決することができました。運輸・タクシーとも基本給だけでは最賃を割る給与も見られる労働実態だけに1人だけで労働条件を変えることは当然難しく、そのためにも労働組合が団体交渉を通じて労働条件を変えていく必要がありますが、まだまだ組織化が途中でこれから組織を大きく広げることが求められています。◆それだけに、現在進めている自交総連・建交労トラック部会が進める組織拡大総がかりの成功が不可欠です。組合員の皆さんの力もぜひお貸し下さい。(福)